

雄国沼の高原さんぽ

全長 800 メートルの遊歩道を進むと、雄国沼の湿原の周りを一周することができます。この湖沼は約 40 万年前、猫魔ヶ岳（1,404m）の噴火と一部崩壊の際に形成され、その麓近くには水で満たされた噴火口が残っています。

緑豊かな風景の中にレンゲツツジ(*Rhododendron japonicum*)の赤い花が咲き、初夏の到来を告げます。次に、バイケイソウ（学名：*Veratrum stamineum*）とニッコウキスゲ(*Hemerocallis dumortieri* var. *esculenta*) が白色と黄色の色で湿地を飾ります。

夏から秋に移るにつれて明るい色は消え、大地は赤褐色の帯に覆われます。冬になると、会津地方に雪が降り続き、景色が白く覆われます。春の朝には、標高 1,090 メートルの湿原に雲がたまっており、かのように見えます。

雄国沼湿原へ向かう 3 つの登山口へは裏磐梯から車またはバスでアクセスできます。雄国沼湿原の周りを一周する遊歩道を歩くと約 30 分かかります。雄国沼と裏磐梯の他の地域を結ぶ 5～6 キロメートルのハイキングコースもあります。